

space R design Times

Enjoy! Vintage Bldg.

FROM FUKUOKA

VOL.01
2013

スペースRデザインが提案する
ビンテージ賃貸の
作り方、活かし方。



人がつながる。

古いビルが変わる。

街も動き出す。

博多の伝統息づく上川端商店街の近くに、冷泉荘という古い集合住宅があった。老朽化で取り壊し寸前だったこの物件に、2006年以降、多くの人々が足を運び始める。スラム化していた古いビルが、リノベーションによりビンテージビルとして命を吹き返したのだ。プロジェクトの発起人は2003年からビル再生事業に着手してきたスペースRデザイン。リノベーションという言葉に馴染みがなかった時代から、メンバーはこう信じていた。ただ古いと

いう理由だけで建物を壊してしまうなんて、おかしい。古さを生かしながらビルを長持ちさせて、入居者や地域に喜んでもらえる方法があるはずだ、と。それは、動きが鈍くなった血管の流れを再び健やかに促すような仕事だ。建物にとって血液とは人である。多くの人々が集まりたいような仕掛けを考えて、かたちにしていく。人がつながるリノベーションプロジェクトこそスペースRデザインの仕事だ。現在進行中の活動をぜひ紹介させてほしい。